



とよおか

第 52 号

平成23年5月20日

議会だより

発行／豊丘村議会 編集／議会だより編集委員会 印刷／龍共印刷㈱



(4月29日に行なわれた植樹祭)

3月定例会



3月定例議会の内容	2～3
3月定例会予算特別委員会質疑より	4～8
委員会だより	9
一般質問・議会活動報告・請願・陳情	10～15
4年間を振り返り各議員に40字以内で一言	16～17
「私の一言」・私がんばっています・編集後記	18



この議会だよりは、再生紙を使用しています



五月の風

◎二十三年度予算

—村政の停滞を招かぬよう骨格型をさげ通常の編成—

◎ドクターヘリ、県の対応に不満

—県知事に意見書提出—

平成二十三年第一回定例会は、三月四日から二十二日までの十九日間の会期で行われた。

開会日には発議二件、条例改正案六件、二十二年度補正予算案五件、二十三年度当初予算案六件、陳情一件が上程され、発議二件については同日決審し、その他の案件については、各常任委員会・予算特別委員会に付託され審査されたのちに、二十二日再会された本会議において可決された。

又、二十二日の再会日には、二十二年度一般会計補正予算案一件、辺地に係る総合整備計画の変更一件、発議一件、教育委員会委員の任命についての同意案一件が追加上程されたが、いずれも可決、同意された。

—県知事に意見書提出— ドクターヘリ配備実現と 医療体制の充実を求める

三月四日の開会日に緊急提案された発議二件（意見書、要望書各一件）は、ドクターヘリ配備に関するもので、県の配備検討委員会の決定に対する不安と不満、怒りを村民の代弁として、県の対応を強く要望する意見書を県知事に、要望書を県議会議長に於て、三月定例県議会開会中に提出しようとするものであるが、このドクターヘリ配備について同様の意見書、要望書は先の二月二十三日開会された南信州広域連合議会で、すでに可決され提出が決まっていることから、広域連合議会の一員としての村議会の対応を協議する必要

は、

二機目を松本の信大附属病院に配備しようとしているが、この区域は、すでに配備されている佐久総合病院のドクターヘリのエリア内にあり、ドクターヘリの果すべき役割を考えると、今回の決定は理解できない。」

「ドクターヘリ配備検討委員会には、人口カバー率や地域の救急

医療体制の有無をあげているが、本来は、道路事情や地形などによる救急搬送の困難な地域において、人命救助を担うのが、ドクターヘリの使命ではないのか。」

「松本には県の防災ヘリも配備されており、重複配備だ。」

「二機目のドクターヘリは、飯田市立病院に配備すべきだ。」

「県は、飯田市立病院へドクターヘリ配備に必要な救急医療体制の整備を行うべきだ。」

「広域連合議会の意見書は、県の方針を安に受け入れた甘いものではないのか。」

「広域連合議会での議論は、言われるような甘いものではない。今出されているような意見

や思いは、連合議会の各議員も同様であり、ドクターヘリ配備に大きな期待を持って見守っていた郡市民の感情も十分にふまえた上で、議論され、練り上げられた意見書であり、我々の思いも十分に含まれていると考える。村議会として提出するのであれば、あまりかけはなれたものであってはならない。」

「阿南、飯田市立、日赤を中核とする飯田下伊那の地域医療の現状を考えれば、信州大学の影響力を否定すべきではない。」

などの意見も出され、最終的

に、広域連合議会の「医療体制の充実を求める意見書」を一部修正し、広域連合議会の意思を尊重した意見書を発議し、全会一致で採択した。

議会提出の「飯田下伊那地域へのドクターヘリ配備実現及び医療体制の充実を求める意見書」では、

・この地域にこそ、ドクターヘリが必要であること。

・配備されなかったことは、非常に残念であり、当地域に不安を増大する結果となったこと。

・当地域にとつて、医療の充実は喫緊の課題であり、具体的推進策が必要であること。

を、強く訴え、

二十三年度一般会計予算

三十一億五千三百万円

前年度当初比一・五パーセント増

景気の足踏み、雇用情勢の悪化による高失業率、円高や世界経済の低迷など景気を下押しするリスクをかかえる中で、国政も混乱、予算関連法案の成立も確実視できず、財政の先行き不安は一層強まっている。

しかし、村は四月の村長、村議の改選を控えながらも、「大変厳しい景気や雇用情勢の

①飯田下伊那地域への一日も早いドクターヘリ配備を実現すること。

②飯田下伊那地域の医療体制の充実について、県が医療関係者等と十分な協議の上、具体的な対応を進めること。

③飯田下伊那地域におけるドクターヘリの潜在需要は非常に多く、ドクターヘリの運航において格別な配慮をすること。

の三点につき、県において、適切に対応するよう強く求める意見書とし、県知事に提出、同時に要望書として、県議会議長に提出した。

会計予算総額を三十一億五千三百万円とする予算案を提出した。審査は、各常任委員会にて二日間、そして予算特別委員会で二日間の延べ六日間行われ、二十二日の本会議において、可決成立した。

クチン接種委託料、ごみ減量化、資源化事業など。

労働費 千七百万円

農林水産費 二億七千二百二十万円

農工費 五千四百四十万円

総務費 三億九千八十万円

民生費 八億七千三百六十万円

衛生費 三億九千二百七十万円

教育費 二億三千四百三十万円

土木費 三億三百三十万円

消防費 一億四千九百八十万円

保健費 一億四千九百八十万円

緊急雇用対策費など。

有害鳥獣対策防護柵設置など。

商工会助成金、リフォーム助成金など。

村単道路修繕、村単道路改良事業など

老人福祉費、障がい者福祉費、保育所運営費、子ども手当給付費など。

住基台帳・税務業務などの基幹システム更新、自らつくる地域づくり交付金など。

（四千八百五十万円増）

（二千五百六十万円減）

（九千九百六十万円増）

（二千九百七十万円増）

（四千五百万円増）

（三千四百四十万円増）

三校へのエアコン設置費など

達成ならず 50%にとどまる

セミナーハウス 裁判の状況は

菅沼議員 弁護士報償費に関わる現況について説明されたい。
総務課長 セミナーハウスの係争について、被告は飯田裁判所の判決を不服として東京高裁に上告されているが、高裁は和解の勧告が出されている。第一回公判が四月開かれるとされている。

将来のため減債基金に ウエイトをつけておく

丸岡議員 減債基金へ一億円を積み立てる目的は何か。
総務課長 将来公債費が支払えなくなった時の為に、元利金の返還に当てるものに積み増しするものである。
丸岡議員 積み増しはよいが、使う機会がなく宝のもちぐされにならないか。
総務課長 新年度予算でも三百万円のとりくずしを計っているところで、財政基金より将来の為に、減債基金のウエイトをつけておきたいとするもの。
唐澤議員 高利の起債で残っているものはどうか。
総務課長 高利の起債は今はない。

い。低利であっても繰り上げ償還も視野に入れ、今度の積み増しを計るもの。

セミナーハウス 活用のため整備行う

片桐(秀)議員 セミナーハウスの整備はどのようなものか。
総務課長 管理棟、宿泊棟のウッドデッキを撤去し碎石を敷く路盤整備をしたい。
片桐(義)議員 レットロビンが盛繁しているが整理できないか。
総務課長 周辺の農薬飛散防止にもなっているので考慮したい。

未満児保育受け入れは 現場と連携して応える

住民課長 ヒブワクチン予防接種について厚生省よりの通達で見合わせている。
前沢議員 子宮頸ガン予防接種は中三から高一となったが、松川町は高三迄、当村は何故できないのか。
村長 国の補助制度による対象年齢としたいとして内部検討をしたところである。
川野議員 未満児保育士賃金増は何か。
保育所長 三園で五十一名を受

入れ、中央では二部屋を三部屋として、臨時保育士を当て対応したもの。
川野議員 未満児受入条件は何か。

保育所長 保育士とスペース確保が必須であり、採否は住民課長が当るとしている。
住民課長 入所の要望があれば現場と連携をとり乍ら応えて行きたい。



「県道 市田停車場線」が完成

補正予算 特定健診の受診率目標



百体庚申の整備を行う

大震災により市田停車場線 竣工を中止とする

村長 市田停車場線が、この二月、十五年の歳月をかけ、多くの方々の理解と協力で完成した。よって祝賀会を計画したが、東日本又栄村の大震災を目的のあたりにし心痛。当予算を義援金として送りたいので議論頂きたい。

唐澤議員 竣工に至った経過を説明されたい。

産建課長 平成四年の調査から、明神橋の平成五年着工、田村交差点迄十五年の歳月をかけ、総額四十億の工事を要した。尚竣工式は、式典、セレモニー等地権者を始めとする招待者としていた。

片桐(義)議員 この祝賀会を中止し義援金とすることに賛成である。

菅沼議員 趣旨は賛成であるが大事業であったゆえ、公文書として残す資料作成や、竣工に対する礼状等の経費は最少におさえ対応されたい。

通学路にある百体庚申 倒壊防止のため整備行う

片桐(秀)議員 図書費の消耗品とは何か。

教育委員会事務局長 小中学校と村の図書購入費で交付金を活用して整備したいとするもの。

丸岡議員 中学校入口の百体庚申様の整備理由は何か。

教育委員会事務局長 実態は百二十体である、文化財等の指定はないが、通学路にあり地震等で倒壊の危険性から林区から対策の要望に出来るもの。

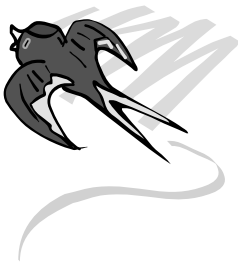
特定健診の実態は

唐澤議員 特定健診の内容について説明されたい。

住民課長 国保加入者の五十五%の受診を呼びかけて来たが、実態は五十%位になりそうである。従って費用減でマイナス検診料を計上した。

唐澤議員 目標達成に至らなかった要因は何か。

住民課長 平成二十二年度の実績については検討中である。



予算特別委員会質疑より

のある加入率

職員五名増を予定

松村議員 二十三年度職員の三名採用の考え方は。
総務課長 現職員は六十二名体制である、二十二年末退職員はゼロだが二十三年末では五名予定である。よって一度の補充は業務遂行上難しいので今春の採用を計った。

広島平和式典に参加

前沢議員 人材育成事業の内容はどんな考えか。
総務課長 夏休み中に広島市の平和式典に参加を考えているが詳細は関係部署とつめたい。

国の公共交通施策を注視

下平(喜)議員 村営バス運行は村、単独でスタートだが新たな交付金はないのか。
総務課長 二十三年度より政府は、地域公共交通維持確保改善事業(地方バスから離島の舟に至る国民の全ての足の確保)を立ち上げようとしているが、予算審議が止まっている。
菅沼議員 路線バスの委託先又

運転手は村内の方か。
総務課長 委託先は東京の大新東(株)で路線毎運転手(五人)がおり村外の方々である。

当分の間、旧庁舎駐車場返還見送り

原議員 敷地借上げ料は。(十a当り)
総務課長 役場周辺は米十五俵、旧役場駐車場四十三万円。下平(喜)議員 旧役場駐車場について返還するとの声もあつたと思うがどうか。
村長 文化施設が庁舎併設時には返還の意図もあつたが、保留となつたこと。又農地へ戻す約束もあつて今少し有効的に使わせて頂きたい。

滞納二十四件に予告状送付

前沢議員 地方税滞納整理機構へ何件申請するのか。
会計課長 この二月二十四件の村内外の滞納者へ予告状を送付した。内、一件について申請したい。中には分納に応じている方もあるので滞納処理は地道にやっけて行きたい。
原議員 電算委託料は何か。
会計課長 法改正で外国人登録

者に住民票交付に伴うシステム整備費である。

鳥獣捕獲報償金を増額

片桐(眞)議員 鳥獣害対策事業の補助金の内容は。
産建課長 とにかく鳥獣の個体数の減少化を計りたい。カラス、サル、クマ等の捕獲報償金をアップした。鹿、猪の換算で九百頭分の捕獲助成金を計上した。

竹ヤブ整備に二十万円補助

片桐(義)議員 植樹祭の樹種レミアウトは景観に配慮されたい。
産建課長 専門的分野の知恵をお借りし乍ら進めたい。
原議員 松くい虫による伐倒処理木が道路沿線に落下情報があるが予算額はどうか。
産建課長 きめこま施策で繰越金がある。地域と相談し委託処理をして行きたい。



竹ヤブ整備がはじまった

松村議員 小規模竹林整備の目的は何か。
産建課長 村内の荒れほうだいの竹藪を区、自治会、隣組の地域が力を合わせての整備に平米当り二百円上限二十万円の補助をしようとするもの。近年日陰地解消に竹藪の申請もある、村はそこ迄出来ない。竹藪は民地が多いので、地域の皆さんが一緒になって整備に取り組んで欲しい。

一日赤奉仕団

地域でバラつき

商工会、助成により 経営スタッフが専念化

丸岡議員 商工会事務局長在籍の助成について検証はできているか。

産建課長 従前は経営指導員が事務局長業務も兼務されていたが、本業の経営スタッフに専念できるようにした。事務局長在籍により、五十周年、商品券、子育てプレミアム券等や渉外事業に充たるなど成果が上がっている。

菅沼議員 先日南部商工会員と地域の村議との懇談会の席で片桐会長曰く、局長週三日の出勤で前述のような業務遂行のほか、所内の5Sの取りくみもあって、雰囲気は向上したと評価は高かった。

台城橋、巻ヶ城橋の塗装 や歩道改修が計上される

松村議員 台城橋と長沢線の巻ヶ城橋の修理はどのようにするのか。

産建課長 台城橋は塗装と歩道の欄干のかさ上げ工事。松川町が工事を行ない、村は三十%を負担するもの。巻ヶ城橋は塩力ルで橋桁が腐食しこれの補修方

法を検討し、補正で工事費を上したい。

地域でバラつきの ある日赤奉仕団加入率

片桐(秀)議員 日赤奉仕団の役割は重要と思う、組織率はどのようになっていくのか。

住民課長 世帯数に対して上段では八十%代、河野八・八%、田村十一・一%、林四十六・九%、伴野六十六・三%であり約七百人が加入している。

片桐(秀)議員 地域で組織がない所をどうするのか。地域が協力することを積み上げておくことが大切ではないか。
村長 最近では村長宛に、日赤奉仕団への加入促進の依頼の手紙が届いている。

発達障害児には臨床 心理士の対応が必要

片桐(秀)議員 就学指導委員への相談件数が増加している中で小中学校ではどう対応しているのか。

教育委員会事務局長 小中学校ではスクールカウンセラーが関わっている。
片桐(秀)議員 高森町・松川町では臨床心理士が入っている。

教育委員会事務局長 就学指導委員会への相談件数が多いのは、園児から学校へ就学に於ける、通常学級か、特別学級についてであり、二町では独自で、他の三村では共同で対応している。

片桐(秀)議員 特に発達障がい児童が多いので親にも支援しないとそういった児童が増加してしまう。臨床心理士を依頼すべきだ。

川野議員 児童クラブ委託料の精算内訳は。
住民課長 人件費、車輛管理費、印刷経費等である。

片桐(秀)議員 河野の児童クラブと障がい者支援事業が混在して運営されている懸念がするが村はよく観ているか。

住民課長 障がい者支援事業は河野三人、神稲二人となったので、神稲に移してやって行きたい。

唐澤議員 児童クラブの運営委員会には保護者も入っているか。
住民課長 保護者三名の他に、教頭先生、教育長、キープの指導者等となっている。

片桐(秀)議員 事業者を特命とするのではなく、内容をよく精査して委託先を決められたい。

上段地域に燃やすゴミ 収集ボックス設置

唐澤議員 燃やすゴミ収集BOXとは何か。

環境課長 環境保全対策の一環として燃やすゴミBOXを上段地域へ二十四配備するもので一戸五百円のご負担を願うものである。

菅沼議員 不法投棄監視員から観た村民のモラル度はどうか。

環境課長 パトロール毎相変らず不法投棄物の回収がされている。モラルアップ迄行っていない現況である。

菅沼委員 監視カメラの成果は。
環境課長 抑止の効果はあると思われ。一名写っているが確かな物証が撮れていないので対応できなかつた。

壬生議員 火葬場検討委員会一回分の予算計上だが、本気で建てようとしているのか。

環境課長 事務局では口あけ的な予算計上とした。
村長 豊丘のみ先行する訳に行かない。北部が連携をとり、又新首長の元に取りくみとしたい。

川野議員 事務組合長一年交代でなく継続して出来ないか。
村長 反省として事務方も併せて承知している。

松尾多勢子生誕二百年で ブロンズ像作製

菅沼議員 猛暑対策扇風機は小中学校どのような機能のものか。
教育委員会事務局 全て壁掛けとし径四十五cm、リモコン操作できるもので、各教室二台取り付けるもの。

唐澤議員 セミナー棟の電源整備とは。

教育委員会事務局 公民館の音楽サークル活動で利用するについて、従来一括した電源を個別管理できるよう整備するもの。



松尾多勢子の顕彰事業を進める

菅沼議員 多目的広場テニス場完成だがセレモニーの計画は。
教育委員会事務局 オープニングセレモニーとしては地元村民に広くテニスに接して頂く、そんな催しとして四月中旬を考えている。

特定健診の受診率 向上は

片桐(秀)議員 特定健診率を上げる対策は。

住民課長 五、六月のヘルススクリーニングを基本に受診率を上げる。未受診者には声を大にして呼びかけ、更にアクションをとりたい。

片桐(秀)議員 かけ声だけで受診率が上がるのか。

松村(佐)担当 受診率を上げるのが目的ではなく健康な毎日を送る事にある。事務方も保健師に協力して受診率向上へ干渉したい。

片桐(秀)議員 未受診者の、男女別、地域毎の分析はあるか。

唐澤議員 この受診率のよし、悪しで国保財政に影響する大きな問題だ。

片桐(義)議員 県内の受診率は。

住民課長 二十一年平均三十九・二% 飯田市二十六・三% 全国三十一・四% 女子の方が男子より十%高い。

川野議員 受診してみようというた雰囲気作りの工夫が欲しい。

老朽はげしい 堀越長沢水道 改修に二億二千万余

丸岡議員 建設改良事業(堀越)とその財源内訳は。

環境課長 総事業費二億二千七百二十五万五千円であり、国庫補助4/10、起債措置(二二・五%)、一般財源である。

丸岡議員 事業の進め方はどうか。

環境課長 地元と協議する中で工事は掘り返し通行止め、松茸観光十、十一月以外での工事を考慮すると二十二、二十三年度に渡つての工事となる。

丸岡議員 水源開発基金の積み立てに係わる新しい水源確保の考え方は。

環境課長 二十一年度掘削の井戸の硝酸、亜硝酸の値が〇・二ポイント上昇を示した(蛇口調査)が源水では全く異なる数値が出ていたので専門家の意見を求めたい。尚対策案として、Nの値を下げる装置について、井戸を掘るより安価に出来る方法も研究をしたいと考えている。

村長 状況を見守り乍ら数年は現況で行きたい。

松村議員 特環、農集施設に改修事業が増加してくる中、合併

浄化槽との維持管理費の平等性議論しておく必要があるが。
環境課長 総務産建委員会に資料検討頂いて居りますが、一点課題が残されているので早急に整えたい。

下平(喜)議員 利用料は近隣町村と比べ安価なのか。

唐澤議員 当村では自家用井戸が多い現状から料金設定は定額制をとった。

村長 二十年世帯構成に置き替えて算定した時、喬木村より安値であった。

環境課長 二十三年度中には料金体系について検討を始めた。

丸岡議員 固定資産税の減少要因は何か。

会計課長 工場誘致による減免措置の対象三社は終了するが継続二社がまだある。土地や家屋は例年とほぼ変りがない。償却資産が伸びず(投資が控えられた)減少した事が主なものである。



委員会 だより

社会教 社文

「ILO看護条約・夜業条約に基づき、医療・介護労働者の大幅増員と夜勤改善を求める陳情を採択。国へ意見書を提出

社会文教委員長 丸岡 茂

陳情者は長野県医療労働組合連合会執行委員長と村内神稲平澤多津子さん。

昨年十二月議会で附託された案件ですが、実態が掌握できない部分も多く、継続審議扱いと

していましたが、その調査結果は、○日本がILO条約を批准しないのは、条約内容と勤務実態があまりにもかけ離れている背景がある

○看護師の労働実態は、月五

十く六十時間もの超勤を続けて過労死した例など劣悪

の労働時間を三十二時間としており、今実現できる状況にないが、目差すことに不採択とする

理由はない

○陳情団体は全国的に大きな組織で、医療・介護労働者の実態が網羅された中での陳情内

容と判断できる数字などは別に、医療現場で働く人たちの労働条件は、一般的には大変だと見られており、

務建 総産

竜東井の排水機能改善の陳情は「不採択」に

総務産建委員長 唐澤 啓六

今定例会では、北市場三自治会より提出された「竜東井の排水機能改善について」の陳情が当委員会に附託され、慎重審議の結果「不採択」となりました。

陳情趣旨は、県営住宅東側を流れる竜東井が大雨時にあふれ、付近住宅へ床下浸水する危険があるため、下流部の漆沢川下部を横断しているトンネルの断面を広くして「水害」の危険を無くすよう求めるものです。

委員会では、現地を視察し慎重に審議をした結果、陳情の主旨は十分理解できるが以下の理由から採択することは困難と判断したところとす。

- 一、陳情にあるトンネルを「蒲鉾型」から「カルバート式」(箱型)への改修については、改修費に巨額の費用が掛かり実現は難しい。
- 二、改修した場合、下流部(林里地区)への影響も考慮しなくてはならない。
- 三、村では平成二十五年に上流部での天竜川への排水機能を向上

改善されてよい医療が受けられることを誰でも願うところではないかと思えます。

社会文教委員会は、住民の暮らしに直結した福祉、保健衛生、環境、教育の分野を担当してきました。お世話になりました。

させる対策を計画している。四、当該地区より上流部での竜東井への流入量の減少対策、及び排水対策を検討するよう村に求める。

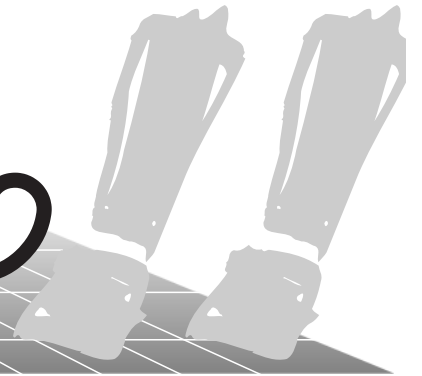


4月16日に行われたテニスコート竣工式



現地視察する委員

しつもん



質 吉川村政十二年の総括について

答 平成二十年八月のひょう害が忘れられない

川 野 孝 子

質問 東北地方を中心とした大震災について支援の手を早急にさし述べてもらいたいが。

村長 二十年八月の豊丘村のひょう害について多くの皆さんに支援していただいた。今回の東北大地震について早速役場庁内へ基金箱を置いて出来るだけの御支援をいただくようお願いしている。どのような支援が求められているのか現地の要請に基づいて早急に対応したい。

質問 在任中やりとげなかった事業があるとしたらそれは何か。

村長 ひとつには役場敷地内への公民館施設の移転が出来なかったこと。それと火葬場、天竜川への架橋が具体的に進んでいないことが残念である。

質問 職員に引き継ぐものは何か。特に職員研修について聞きたい。

村長 住民福祉の向上と地域発展のため引き続き汗をかく気持ちで仕事に励んでほしい。

質問 職員研修については村民が今何を一番苦しんでいるのか困っているのかその課題を職員の皆さんには村民と共有出来る

研修をしてもらいたい。今増えつつある認知症について職員も勉強をし理解を深め窓口業務等について活かしていつてもらいたい。

村長 豊丘村としても昨年二月北部振興局主催の認知症への正しい理解と対応の勉強会に七十名の職員が出席し勉強をした。

今後現場での研修等重ね理解を深めていきたい。



南相馬市から避難された皆さんとの懇談

議会活動報告

十月～十二月

◎十月

四日 議会だより編集委員会
五日 北部ブロック正副議長・事務局長会議

六日 郡市議会議員研修会
七日～八日 社会文教委員会

十二日～十四日 視察研修（北陸）

十二日 視察研修（北海道）

十五日 議会だより編集委員会
十五日 北部総合事務組合議会

十九日 議会だより編集委員会
十九日 第二回 臨時議会

二十一日～村づくりふれあい集会
二十二日 北部ブロック議員総会

二十六日 長野県議長会総会
二十七日 全員協議会

◎十一月

二日 中学生模擬議会
十一日 県議長会県要望活動

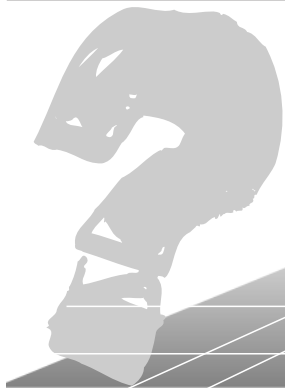
十二日 三遠南信サミット
十五日 阿部知事との懇談会

十七日～十八日 町村議会議長会全国大会
二十二日 高齢者ふれあい集会

全員協議会・議会運営委員会
二十四日 広域連合議会

二十五日～二十六日 国会要望活動

二十九日 北部事務組合議会全員協議会
第四回定例会開会



いっぱん

質 誕生日日本、なぜ貰えない

答 訪問してお詫びする

片 桐 秀 人

質問 私は過日、障がい児を持つお母さんの会に招かれ、障がい者自立支援法の福祉サービスについての説明に伺ったとき、あるお母さんから、「私の子は十五才になるけれど養護学校に行っているために誕生日日本を貰ったことがない」と話されました。

本村は小中学校生徒に誕生日に本を贈呈しているが、特別支援学校生徒には贈呈しないのはなぜか。

村長 言われないと気付かなかつた、現在に至ってしまったことは素直にお詫び申し上げる。

質問 障がい児の発達には大きな差がある。一律に本を選択するには無理がある。図書カードで贈呈し、親の判断で発達に合わせた本を選択して貰う方法もある。

母親のグループからは、二年前に要望されているのになぜ行っていないのか。

教育委員会事務局長 本の選定の面でするか迷っていて現在に至ってしまった。議員の指摘されたように図書カードで対応したい。

質問 障害のある子供を一人の人間として見て来なかったことは重大な問題である。

教育委員会事務局長 村長と私と



飯田市立病院へのドクターヘリ配備を望む

で三月中にお詫びをしながらプレゼントに訪問させて頂く。
質問 ドクターヘリの配備がなぜ飯田市立病院ではなく、松本の信大病院になったのか、副連合長としてどう考えているか。
村長 一年あるいは経過を見る中でどちらの方がよいか県民の判断をして頂く。

三十日
◎十二月

議会運営委員会
北部ブロック議会議員講演会

三日
第四回定例会 再会

全員協議会

六日
議会だより編集委員会

八日
総務産建委員会

九日
社会文教委員会

十日
県議長会役員会

十四日
一般質問

十六日
予算特別委員会・全員協議会

二十日
議会運営委員会

二十一日
第四回定例会 再開

全員協議会

【請願・陳情について】

●陳情

(平成22年第4回定例会継続審査)

ILO看護条約・夜業条約に基づき、医療・介護労働者の大幅増員と夜勤改善を求める陳情

<採 択>

●陳情

竜東井の排水機能改善について

<不採択>

質 入学準備金の貸し付け制度は

答 制度の検討は大切である

片 桐 眞 理 子

質問 村では児童生徒が安心して、就学できるよう奨学金制度をはじめ就学支援制度があり対応して頂いている。これらの活用状況について伺う。また経済状況が不安定な中である。高校や大学に進学する場合に入学準備金の貸し付け制度があれば大変助かると思うが村長のお考えは。

また国保財政についてはどうか。住民課長 二十二年度は五十五%の目標であるが現在五十%前後の予想である。未受診者対策としては期間以外でも健診日を設け今後も力を入れていく。村長 保険料を十%前後上げても二十四年度には基金を食い尽くさなければならぬ実態である。安心して医療を受けられるよう国の方へ強くお願いしている。

教育委員会事務局長 これらの制度は学校を通して申請を行っている。経済的理由で就学が困難と認定した場合、学用品、給食費の一部を支援する制度である。小学校は八世帯、中学校は十二世帯が申請され総額は百九十三万円程である。

村長 入学準備金については、今の社会情勢に鑑みて新たな制度を検討する事は当然大切なことである。

特定健診の受診率向上は

質問 一般にメタボ健診と呼ばれているものである。村では原則国保加入者についてのみ行い生活習慣病予防に取り組んでいる。受診率向上が医療費を押さえる事にもつながると思うが、状況については。

特定健診受診率向上をめざして



特定健診受診率向上をめざして

質 水道本管布設替え工事概要は

答 二十三年から堀越、長沢地区へ

原 健 治

質問 村内のどこの家庭でも水道の蛇口を回すと水が出るのが、あたり前となつてきている簡易水道である。布設されてから長い年月が経過し、本管等の破損による水漏れ修理が増えてきていることから、二十三年予算計上されている。本管等布設替え工事の概要と次年度以降の計画予定は。

環境課長 昭和四十七年から、堀越、長沢地区に簡易水道の配水管布設整備事業が着手され、配水管の布設工事が行なわれて以来、四十年が経過している。近年徐々に管の破損による漏水事故が増加して来た。老朽化が顕著で早急に改善が必要と判断した。二十三年度より二年かけて堀越地区の本管と、本管からメーター器までの給水管布設替え工事を実施する。事業費は一億三千万円弱、給水の取り出し布設替えは、六十世帯が該当し事業費千五百万円。二十四年度は給水管の取り出し布設替え五十三世帯が該当し、本管工事含めて一億三千万程かかる。二十五年から二年かけて、長沢地区を予定。事業費は二億円弱の計画。



水道本管布設替えが予定されている堀越地区

福祉施策の充実を切望

質問 村の人口が平成十三年には七千三百四十人、本年七千人を切った。吉川村政から次期村政への課題は。

村長 人口の減、高齢化が激しい。生活していく上での課題が多い中で、福祉施策の充実。産業の振興。皆で支え合える地域づくりを切望したい。



積極的誘致が望まれる伴野工業団地北側

質 伴野工業団地へ企業誘致を

答 農振除外の課題は六月迄にクリアー

菅 沼 敏

質問 村は工業団地線を延長し、工業増設面積を三・二ha整備された。工業団地には三十社が操業していたが、内一社が暮に倒産した。この地代が未払と聞く。村は工業団地の開設や企業誘致に仲介役を担った。地代の未払いをどうされるのか。又跡地へ速やかに企業を誘致すべきと思うが、どう考えるか。

村長 跡地について、三つ程の企業が目を付けているようであるが、裁判所から破産管財人が未だ選任されず、メイン銀行としても動けない状況である。地主さんへの支払いは大金である、何年も滞る事は生活に響くゆえ、跡地が有効に利用できるよう、村は精いっぱい努力をするよう考えている。

質問 伴野工業団地組合に所属しているJ社（年商約十一億）が増設した用地に約七十アールの借地を打診された。当企業は上、下伊那の事業所を統合したいむねの話しを得た。村はどう対応される考えか。

産業課長 J社からの用地確保の依頼を考えるに、重要な事業内容と認識している。環境課と連携して、今後地権者や地元伴野区へ相談して行きたい。又農振除外の課題は六月位までにJ社ともう一社の話しと併せて希望に添えるようにしたい。尚今回企業誘致パンフレットを作成したので有機的に活用して行く。

質問 誤算あった伴野神社への村営水道はいつ整備されるのか。

環境課長 この三月中に完成するよう工事を進めているのでご理解を頂きたい。

質 集会施設の助成について

答 交付金要綱の方が有利である

前 沢 光 昭

質問 村内の集会施設の建設で最近では助成は林、伴野、田村など区民会館ではあるが、各自自治会の集会施設ではまだ古くなって建替えを望む地域もある。区民会館での助成金の財源は自治宝くじの助成をあてているが、その都度あてになるものでなく、確実なものではない。さらに国の事業仕分けで宝くじ助成金自体がどうなるかわからない。たとえ定率でも村としてはつきりと助成制度を作れないか。

毒や施肥の必要もなく安心。ただし成長は早い、鳥取方式と呼ばれる芝生化が全国に広まっている。視察もあいついでいると言う。保育園から取り組めないか。

保育所長 現場にも聞いて見た、管理面で抵抗があるし運動には滑りやすいという。

総務課長 過去の区民会館の助成については集会施設等交付金要綱に基づき決定、最近では中芝会所が申請されている。決まれば自治会では初となる。規模によつて違うが半分くらいの助成率になる。議員の言われる定率の制度よりは有利である。ただし確実なものではないので早めに申請してほしい。出来れば数年前には。

質 保育園園庭の芝生化について

質問 子どもたちの成長にとつて運動は大変貴重なもの、運動広場、校庭、園庭などの芝生化は運動会や遊びなどに恐怖心がなくなる最近の良い芝もある。消



保育園 園庭の芝生化は進むか

質 文化施設建設中止への思いは

答 私の方針を貫いた

唐 澤 啓 六

質問 対話の村政を標榜した吉川村政の十二年は、ほぼその姿勢が貫かれたと評価するが、次の二つの課題については疑問が残る。一つは文化施設の建設についてである。現行の福祉センターは耐震性が無いことから、数年前より改築の検討が行われ国の補助事業(まちづくり交付金事業)の最終年度(平成二十二年)までに建設を目指して取りこんできた。しかし、村長は建設場所について検討委員会が出した結論と、自らの考えが相違することを理由にこの事業の取りくみを中止した。

唐 澤 啓 六
きであつた施策である。その一つが地域公共交通対策である。不都合な村営バス主体の交通体形の改善は二年間の議論を経ても、今、抜本的な改善策が出せないでいる。次期村長へのメッセージは、
村長 公共交通会議の多数の意見は、現行体形をもう少し続けて様子を見ようとするものである。
住民ニーズと財政面を総合的に検討する中で徐々に方向転換していただきたい。

今後、新村長の方針で建設を計画しても国庫補助の見直しは極めて困難であり村の財政負担は大巾に増大する。このことについての村長の見解を求めます。
村長 検討委の考え方は幾度聞いても納得できなかったので私の方針を貫いた。私の考えに共鳴する村民の皆さんも数多くおられる。国の財政がある程度許す段階になれば、施設整備ができるような政策が必ずでてくると考える。



望まれる文化施設

質問 土砂災害防止法に基づいて全村での基礎調査が行なわれ、その全てが完了し、この度、警戒区域と特別警戒区域が、地図上に示された。土石流、あるいは急傾斜地の崩壊で特に警戒を要する地域は村内全体にわたり予想以上に点在し、今後の村の防災に対して危惧を抱いた。
まず、一点として、この法律の目的やこういつた警戒区域について、今後の行政指導をどの様に行っていくのかを、お伺いしたい。又災害危険住宅移転事業(国庫負担)の導入も可能と聞くと、補助対象区域内では建築基準法適用の範囲の拡大により、移転、新増改築等、新たな留意点も発生する。掌握される範囲での今後の対応や、お考えをお伺いしたい。

質 土砂災害防止法に基づく今後の村の対応は

答 区域ごとのすみ分けの必要性を思う

片 桐 義 憲



地域防災に36災の教訓は欠かせない (36災状況写真)

村長 「近年異常気象等により、多発している土砂災害から住民の生命を守るため、知事が区域を指定し土砂災害の防止に努める。」を目的としている。山間地の人口流出も懸念されるが、急傾斜地、治山のハード面整備もしやすくなる。又特別警戒区域内には約二百棟の建物があるが、住宅移転補助制度を導入するか否かの検討と合わせ、急傾斜地、治山等のハードの整備を行なう区域又住宅移転補助事業を行なう区域といったすみ分けが必要であろうと考えている。
産建課長 崖崩れの特別警戒区域は、斜度三十度以上で高さ5m以上。その下の人家五戸以上。これが事業に取り組む上での要件となる。

質 人が活き、支え合う村を

答 大賛成。行政も心掛けたい

丸 岡 茂

質問 飯伊地域は市町村合併によらず、広域連合や定住自立圏など広域連携に活路を見出そうとしている。社会資本の整備は、長野県は北高南低などと言

われるが、隣の上伊那郡に比べても遅れているのは地形のせいなのか。以前、首長たちの広域連携にかける熱意が必ずしも十分ではないとの見方も示されたが、現在はどうか。

村長 リニアや三遠南信道の取り組みなど共通課題も多く、よい形となっている。

質問 豊丘の人口は飯伊地域の僅か4%だが、北部町村の中心にあり、広域連携に一定の影響力を持たなければならぬ。

村長 風光明媚な地形や人間性が誇り。是非活かしてほしい。

高森町から見た豊丘村



質問 地方行政の歴史を振り返りつつ、今何を大事にしなければならぬかと言えば、お金や物より、そこに住む人の力が地域社会をよくしていくという認識ではないか。ナイターソフトで、多忙な他の人の分まで代わって審判をしている青年に「損とか思わないの?」と聞いたら、「思わない。ソフトが好きだし、このチームでやりたいから」と即答があり嬉しかった。些細なことかもしれないが人が活きている——こういう風土づくりを行う政は心がけるべきだと思うがいかがか。

村長 大賛成。議会と執行者の議論、職員の心掛けの中に、そうしたものが求められていくと思う。



下 平 豊 久

私も村会議員は、四月二十九日をもって任期満了退任となりました。

この任期中大過なく任務を遂行出来ましたのも、村民の皆様方よりお寄せ戴きましたご支援ご協力の賜物と心から感謝と御礼を申し上げます。

平成二十年の甚大な被害をもたらした電害は、議会としても迅速に対応し、翌日には現地調査を実施し被害調査と激励を、正副議長は長野県現地調査に同行し、県への要請、森田県議・吉川村長・下平議長での県知事への要請活動等の活動を展開いたしました。

この電害への寄せられました多くの支援に感謝いたします。また、定住自立圏構想への参加をめぐっての議会での集中した議論と行動は、議会活動の活性化を強める契機となったと思います。

豊丘村議会の委員会を重視した議会活動は他町村に誇るべき特徴であると言えます。

今後は、この充実した委員会での審議を村民に知らせる為の取組みが強く求められています。

新しく選出された議員が更なる議会改革と活性化に取り組まれることを期待いたします。

片桐義憲

住民の幸せや、明日の村のあるべき姿を論じられる議場に立たせて頂いた事に感謝致します。

下平喜隆

人生の中でも最っとも印象深い、様々な経験を積ませていただきました。感謝致します。

片桐真理子

共助の精神が大切である事を訴えてきました。大震災を通して共助の尊さに心を打たれた。

原 健治

村民のために施策を行なうには、多くの議論の積み重ねが重要であることを教えられた。

前沢光昭

この4年間の議員活動についても、切実な住民要求実現中心に取り組んできました。

丸岡 茂

一生懸命やりました。それがすべてです。

松村正三

4年間のご支援に感謝致します。大震災。早期の国土再生、生活・経済基盤の復興を願う。

返り各議員に
以内で一言



片桐秀人

三期の中で一番充実した活動ができました。残念だったのは、村の公共交通対策でした。

壬生章男

一般質問で有害鳥獣問題で南部よりフェンスが作られる、村内区費問題で中山間地交付金ができた。

菅沼 敏

一票の重きを背に地域を村を、よくしたいの一念で頑張っていた議員活動、胸を張って後進に託す。

東垣外厚

誇りは、「口利き」と言われる行為を一切しなかった事。全住民の立場で行動したこと。

川野孝子

平成20年8月の百年に一度のひょう害が忘れられない。しかし負けずに頑張っている。

唐澤啓六

08年夏の雹害…無惨に傷ついた果実に心が痛んだ。県へ出向き、支援を要請した思い出。

下平豊久

議長として、誠心誠意微力ながら全力で尽くし職責を果たすことが出来たのは、議員各位のご協力の賜物、と心より深く感謝申し上げます。

4年間を振り

40文字



シリーズ「私、がんばっています」

四年前、地蔵道から一貫道路沿い役場南側に移転新装オープンし、自動車販売、整備業を営む、有限会社岩崎自動車、社長岩崎廣文さんを尋ねた。

岩崎さんは、昭和二十六年、高森町、滝の口の生まれ。地元高校卒業後、日立製作所中央研究所に入社し、四十年代という時代背景の中で、家電製品、主にビデオデッキ等の研究、試作や、これらに伴う工作機器の

昭和五十六年、三十才。帰郷し結婚、岩崎自動車の後継となられた。今までの仕事と、内容も違う事もあり、日産サニーへ勤めながら、整備や、営業を経験しながら整備士等の資格取得に励まれた。言うまでも無いが、車の整備は責任の重い仕事。又昨今の環境の問題にも深い見識を持たなければならぬ。又保険業務との一体的仕事でもあり、顧客の希望、ニーズに早急の対応を図らなければならぬ。この様な経済状況の中では、経済的損失もや

でいる。

れた。被災者の皆さん、一日も早く元気を取り戻し、希望を持って頑張つて欲しいと思います。



私の一言

今や国民は国会議員の政策対応に、国民の為と言いつつながら結局自分達のことしか考えていないと怒りたい。揚げ足ばかりとり一向に核心の審議に入らない。よほど地方自治体の方が住みよい地域づくりに一生懸命取り組ん

国会議員への申し

夫 昭 阿 部 昭 下市場

政治と金の問題もそうである、一向にちがが開かない。財源の無い事には始まらない、赤字国債をこれ以上増やしてはならない。そんな折り返東日本大震災である。未曾有のM九、そして大津波、福島原発の大問題発生、更に復旧、復興へ政府は難題を抱え財政は大ピンチである。

豊丘村も被災者を受け入

四月になると統一地方選挙が始まる、豊丘も村長、村会議員の選挙だ。今日の少子高齢化社会、及ばずながら我が村も例外ではない。そんな中であつて村作りの舵取りは難かしい。この厳しい社会から抜け出る為に、国も地方も本気になって建設的な意見を出し合い、一ツづつ問題解決し、国民の納得行く政治を国会議員にお願いしたい毎日です。

編集後記

▼三・一一東日本大震災、歴史的な大惨事発生。お亡くなりになりました皆様にお悔やみ申し上げます。壊滅的災害で被災された皆様に御見舞い申し上げますと共に、日夜、身を呈して、懸命な復旧作業に御尽力いただいているすべての皆様に、心より感謝御礼申し上げます。▼想像を絶する大災害。大事事が瞬時に襲う。巨大地震、巨大津波、そして人災とも言える原発重大事故。起きてはならぬ事故続発。今となり成す術を知らなかったのかと、その無能さの焦燥にかられる。▼危険な原発と言われながらも、世界はエネルギー施策の中核の位置付けをしつつ今日に至っている。利の追究は、人が本来持ち合わせる欲望でもあ



次世代にチャレンジ

- 編集委員長 片桐眞理子
- 副編集委員長 片桐 義憲
- 委員 菅沼 敏
- 委員 東垣外 厚
- 委員 下平 豊久
- 委員 松村 正三